

令和6年度（2024年度）
事業実績報告書

Ⅰ. 申請者の概要

申請者	団体名		泉佐野商工会議所	
	代表者職・氏名		会頭 金野 泰之	
	所在地		〒598-0006 泉佐野市市場西3丁目2番34号	
	担当者	職・氏名	中小企業相談所長 永田一夫	
		連絡先	TEL（直通）：	072-462-3128
			Fax：	072-463-8780
E-mail：	info@izumisano-cci.or.jp			
①設立年月日			昭和25年12月9日	
②職員数 （うち経営指導員数）			16名（経営指導員9名）（令和7年3月31日現在）	
③所管地域				
④管内事業所数			4983（令和3年度経済センサス）	
⑤管内小規模事業者数			3134（令和3年度経済センサス）	
⑥会員数（組織率）			1157（令和7年3月31日現在）	
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること				
□主な事業概要（定款記載事項等）				
1. 商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。				
2. 行政庁等の諮問に応じて答申すること。				
3. 商工業に関する調査研究を行うこと。				
4. 商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。				
5. 商工業に関する講演会又は講習会を開催する。				
6. 商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行うこと。				
7. 博覧会・見本市等を開催し、又はこれらの開催の斡旋を行うこと。				
8. 商事取引に関する仲介又は斡旋、仲裁を行うこと。				
9. 商工業に関して相談に応じ、又は指導を行う。				

<p>(1) 事業の目標</p> <p>経営環境の変化に強い小規模事業者の育成を目指す。そのためにも事業計画作成や定期的な事業計画の見直しの頻度アップは重要であり、支援強化を図る。又、強みを活かし個店の魅力を引き出す取り組みや新たな需要を取り込む意識を高め、地域でのブランド化を推進する。生産性向上や販路拡大を目指し、IT推進のための人材育成や人材の確保、定着率の向上を図る。直面する資金繰りへの課題や設備投資に向けての資金調達等、各種金融機関との連携により課題解決を図る。近年、増加している自然災害や感染症等による脅威を乗り越え、事業を継続させるため、事業継続力強化に向けての支援や情報発信等により、企業活動の推進・強化を図る。創業セミナー等を通じて、創業へのモチベーションを高め、自分が思い描く起業に近づける。</p>
<p>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</p> <p>原材料価格の高騰や物価上昇など、厳しい経営環境が続く中、魅力あふれる事業者を育成するための支援を実施した。「強み」を活かし、新たな需要を取り込む意識改革を目指し、「商工フェアIN泉佐野」の開催や「泉佐野グルメガイド」では、個店の魅力を引き出すことができるように支援を行った。「経営革新セミナー」では、新たな取り組みにより、さらなる成長を目指すための支援を行った。販路開拓&業務効率化を目指した「AI活用支援事業」や「働く女性のモチベーションアップ支援事業」「若手社員フォローアップ研修会」等により、環境変化に対応できる人材育成を目指した支援を行った。また人材確保においては、「就労フェア」「就職フェア」「障害者雇用に関するセミナー」「人材ニーズの明確化とHR支援制度に関するセミナー」等、多様な分野からの人材確保支援ができるように取り組んだ。経営相談事業では、新たな事業に踏み出す事業者に、経営指導員の伴走支援により、事業計画の作成支援や資金調達支援に取り組んだ。さらに専門的・高度な課題については、専門家の活用により、迅速な対応でモチベーションをアップを図った。新たな地域経済の担い手の育成として「創業セミナー」を開催し、創業前の不安や疑問を解決に導き創業意欲の醸成と起業家の掘り起しを行った。</p>
<p>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</p> <p>経営相談支援事業では、小規模事業者が直面している課題解決に取り組んだ結果、危機を乗り越えることができ、今後の地域を活性化させるための土壌を醸成できた。特に、環境変化に対応するための課題解決を目指す新規事業や新たな取り組み等については、伴走支援により満足度を高めることができた。地域活性化事業では、単独事業・広域事業を効率的に実施することができた。「商工フェアIN泉佐野」では、自社技術や製品のPR、新メニューの開発など、直接、消費者の声を集めることができ、新規取引先の開拓や新メニュー等の発案に役立ち、今後の売上回復や資金繰り改善に、期待が持てる状況を作れた。また人材確保事業では、広域連携により満足度を高めることができ、経営基盤強化の一助となった。人材育成事業では、様々な階層の人材育成に取り組むことにより、小規模事業者にとって限界のあった人材育成について、具体的な支援を実施することができ生産性向上等に貢献することができた。専門相談支援事業では、的確なヒアリングにより、専門分野での課題を抱える事業者の支援後の満足度を高めることができ、今後のスムーズな経営への速度を早めることができた。</p>
<p>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</p> <p>経営相談支援事業では、直面する課題の解決だけでなく、将来の成長、安定に向けた支援を行う必要があり、中長期の経営計画構築が望まれる。地域活性化事業では、引き続き「人材確保」「人材育成」が必要であり、多様な人材の確保が必要である。一方では業務効率化・生産性向上のためのIT活用の支援が必要である。又、いかにして付加価値を高め競争力を強化できるかが問われている。</p>
<p>(5) 次年度の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材不足や賃金引上げなど、小規模事業者にとって厳しい状況にあり、資金繰り計画はより重要性を増している。引き続き資金繰り改善のためにも、売上アップにつながる施策を実施していきたい。 ・人材育成事業の充実を図り、モチベーションアップ、人材定着、組織基盤の強化に繋げる。 ・新しい人材確保の打ち手をさがす。 ・AI技術の有効性を小規模事業者に広めることで、業務効率化や販路開拓に直結するような実践的なノウハウを身に着ける取組みの実施により、売上・利益の向上に繋げる。 ・南海トラフ地震等による大規模災害の発生に対応したBCP策定について支援する。 ・米国関税措置の発動による影響への対応について。 ・知的財産を効果的に使うことにより、市場競争での優位を目指す。

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 泉佐野商工会議所

Ⅰ 経営相談支援事業						
支援のポイント・成果						
経営者とのヒアリングを通じて課題を浮き彫りにし課題解決に向けて取組み、必要に応じて専門家や専門機関での支援により、満足度の向上に努めた。また各種支援施策を紹介し、事業者にとってのタイムリーな情報提供を行った。昨年より実施されているインボイス登録により小規模事業者の記帳業務に課題があり、記帳支援を精力的に実施した。エネルギー価格の高騰をはじめ、各種の価格高騰の影響を受け収益が減少する中、資金繰りへの不安を克服するため借換融資や追加融資等により資金調達支援を行った。また利益率の低下傾向にあることから、売上拡大と共に、コスト削減は重要な課題であり、積極的に取り組んだ。財務分析支援では、経営者に気づきを与え、経営基盤をより強固にするための課題を浮き彫りにすることができ、今後の経営戦略を効率の良いものにすることができた。人手不足は慢性的であり、IT化により生産性向上を目指すことは、小規模事業者にとって、生き残りをかけた有効な支援となった。創業支援では、創業セミナーの活用や労務、記帳、事業計画支援、専門家活用等によりスムーズな開業に至った。自然災害等からの早期の復旧を目指すBCPについては、セミナーやその後の個別相談、巡回相談等、地道な活動により、支援を広めることができた。						
【代表事例】						
長年カフェでの勤務経験を持つ相談者が、「自分の店を開きたい」という想いを胸に創業を目指し、商工会議所を訪れた。相談当初は、開業に必要な手続きや資金調達の方法が分からず、不安を抱えている様子であった。創業までの流れや事業形態の選定、必要書類について丁寧に説明を行い、あわせて日本政策金融公庫の新創業融資制度を紹介した。特に注力したのが、融資申請にも活用できる事業計画書の作成支援である。相談者と何度も面談を重ね、コンセプトの明確化、市場分析、資金計画などを具体的に落とし込み、開業後も継続的なフォローを行っており、順調なスタートを切っている。						
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価	
事業所カルテ・サービス提案	事業所	260	278	106.9%	5	
支援機関等へのつなぎ	支援数	8	12	150.0%	5	
金融支援（紹介型）	支援数	17	20	117.6%	5	
金融支援（経営指導型）	支援数	53	63	118.9%	5	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	2	0	0.0%	-	
資金繰り計画作成支援	事業所	49	37	75.5%	5	
記帳支援	事業所	40	22	55.0%	4	
労務支援	支援数	51	63	123.5%	5	
人材育成計画作成支援	事業所	0	0	-	-	
マーケティング力向上支援	事業所	2	1	50.0%	4	
販路開拓支援	支援数	30	20	66.7%	4	
事業計画作成支援	支援数	33	31	93.9%	5	
創業支援	事業所	10	13	130.0%	5	
事業継続計画（BCP）等作成支援	事業所	10	4	40.0%	3	
コスト削減計画作成支援	事業所	21	34	161.9%	5	
財務分析支援	事業所	40	57	142.5%	5	
5S支援	事業所	0	0	-	-	
IT化支援	事業所	10	11	110.0%	5	
債権保全計画作成支援	事業所	0	0	-	-	
事業承継支援	事業所	10	2	20.0%	2	
災害時対応支援	事業所	0	0	-	-	
フォローアップ支援	事業所	20	0	0.0%	-	
結果報告	事業所	200	251	125.5%	5	
Ⅱ 専門相談支援事業						
支援のポイント・成果						
経営指導員が課題を整理したうえで、専門家へ繋ぐことで相談者の満足度アップに繋がっている。小規模事業者が抱えている経営課題は、年々、複雑化しているが、早期にワンストップで対応ができるように、法律・税務・労働・知財等の課題に適した専門家を設置した。特に税務相談では、近畿税理士会との連携により経営環境変化への対応や所得税・消費税の確定申告相談を実施し課題解決を図った。法律相談では、各種事業経営トラブル、知財相談では、特許出願等についての課題解決に繋がった。						
事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談	継続	回数	9	5	55.6%	4
税務相談	継続	回数	12	16	133.3%	5
金融相談						
労務相談	継続	回数	4	6	150.0%	5
その他相談	継続	回数	4	2	50.0%	4

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>●都市ブランド向上事業 「商工フェアIN泉佐野」では、ものづくり体験教室を通じて、若者にもものづくり体験の機会を提供し、次世代の事業者育成のきっかけになった。また物産展の開催により販路拡大の機会を広めることができた。「泉佐野グルメガイド」では、自慢の料理や地域ならではの商品などの展示販売により、今後の販路拡大へのヒントを掴むことができた。</p> <p>●人材確保事業 「就労支援事業（高齢者雇用促進フェア）」、「就職フェア（合同就職面接会）」、「人材ニーズの明確化とHR支援制度に関するセミナー」、「障がい者雇用に関するセミナー」の開催により、地域中小企業の雇用機会の創出に繋がった。</p> <p>●人材育成事業 「働く女性のモチベーションアップ支援事業」、「部下や従業員のほめ方・叱り方セミナー」、「若手社員フォローアップ研修会」・「ビジネスコミュニケーション力アップセミナー」等の開催により、経営者・管理職・若手従業員等のスキルアップやメンタルケア等について学ぶことで、モチベーションアップ、人材定着・組織基盤の強化に繋がった。</p> <p>●創業者創出・事業継続事業 「創業セミナー（特定創業支援事業）」では、事業経営の基本を学ぶセミナーを開催し、創業準備をイメージできるようになったことで、総合的な地域の活性化に繋がった。</p> <p>●販路開拓支援事業 「販路開拓・業務効率化のためのAI活用支援事業」により、売上・利益の向上に繋がった。</p> <p>●新事業・新サービスへのチャレンジ事業 「経営革新セミナー」では、経営力向上を目指すために、中小企業ならではの強みを活かして、経営革新のあり方を学び事業の成長を図った。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	商工フェアIN泉佐野	35	26	74.3%	92.3%	自社製品のPRに繋がった企業の割合	80%	100%	125.0%	5
○	働く女性のモチベーションアップ支援事業	15	5.5	36.7%	100%	モチベーションアップに繋がった又は、働きやすい環境整備を行う意欲が向上した割合	70%	100%	142.9%	4
	泉佐野グルメガイド	55	37	67.3%	64.9%	新規顧客の獲得へ繋がったと実感した企業の割合	70%	51.4%	73.4%	5
○	就労支援フェア (高齢者雇用促進フェア)	15	14	93.3%	71.4%	採用に結びついた企業の割合	50%	50%	100.0%	5
○	創業セミナー (特定創業支援事業)	15	9	60.0%	88.9%	創業知識が深まり創業準備がイメージできた受講生の割合	50%	44.4%	88.8%	5
	部下や従業員の ほめ方・叱り方セミナー	15	16.5	110.0%	90%	ほめ方・叱り方のスキルについて学んだことを実践しようと思った企業の割合	70%	97.5%	139.3%	5
○	経営革新セミナー	15	6	40.0%	83.3%	経営革新計画申請を希望する事業者の割合	70%	66.7%	95.3%	4
(2) 広域事業（幹事事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	就職フェア (合同就職面接会)	37	34	91.9%	70.3%	採用に結びついた企業の割合	50%	35.3%	70.6%	4
○	障がい者雇用に関するセミナー	15	30	200.0%	100%	「障がい者雇用に関して、理解を深めることができた」と回答した企業割合	70%	94.8%	135.4%	5
○	人材ニーズの明確化とHR支援制度に関するセミナー	20	7.5	37.5%	87.5%	「セミナーで得た知識を、人材の採用や定着に向けて活用したい」と回答した企業の割合	70%	100%	142.9%	4
○	販路開拓&業務効率化の為にAI活用支援事業	20	10	50.0%	78.6%	AIツールを自身の事業へ活用していくと答えた事業者の割合	70%	64.3%	91.9%	4
○	若手社員フォローアップ研修会	24	13.5	56.3%	100%	ビジネスマナーへの理解が深まり、対応力について自信が持った企業の割合	70%	94.1%	134.4%	4
	ビジネスコミュニケーション力アップセミナー～話し方・きき方・伝え方～	24	25.5	106.3%	91.4%	ビジネスコミュニケーション力が向上した企業の割合	70%	82.8%	118.3%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書			
泉佐野商工会議所			
事業名		商工フェアIN泉佐野	
想定する実施期間		H29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	泉佐野地域では、タオルや農産物等、優れた特産品を生み出しているが、地域の産品をPRできる場が少なく、知名度が不足している感がある。商業分野に限らず工業分野においても認知度向上に苦慮する製造業者を支援し、販路拡大に繋げる必要がある。そこで本事業では、PRの場として物産展を開催し、製品の試用や体験により、よりインパクトのあるPRを可能とし、出展を通じて、出展スキルを身に付けることから、他の展示会への参加意欲を高め、販路拡大の機会を広めることができる。また同時開催イベントとして「ものづくり体験教室」を開催する。「ものづくり」に対する関心を高め、次世代の事業者育成のきっかけとなる場を提供する。また地元グルメの披露を行い、相互にコミュニケーションが取れる環境をつくる。「泉佐野」のブランド力を広く内外にアピールし、販路拡大に繋げていくと共に、地域に「商工のお祭り」を根づかせることで、参加される方々の様々な出会いにより、異業種の垣根を越えた関係をつくり、地域をさらに盛り上げたいという気運を高め、地域活性化に繋げる。	
	支援する対象 （業種・事業所数等）	泉佐野市・田尻町の商工業者35社の参加を想定	
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	・開催日時 令和6年10月26日(土)・27日(日) AM11:00～PM4:00 ・会場 ①レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター前広場他 ②泉佐野市役所横駐車場 ・実施内容 泉佐野周辺地域の事業所が、地域住民に対し「自社商品や製品の紹介」やお客様の「生の声を聞く」場として活用。地域住民においては、市内事業所や地場産業を知る機会となった。わがまち泉佐野の「誇れる事業所」を認識することで「事業所と市民」との共生意識の促進を図ることができた。出店事業者からの協力を経て、地場産品の抽選会を紹介。 ・来場者数 15,000人 ●「展示・販売・飲食等」 ①「商品・地場産業展示コーナー」・・・24社 ②「商品の販売・飲食コーナー」・・・23社 ③「地域の団体等のコーナー」・・・12団体(泉佐野警察署・泉佐野消防署・商工会議所青年部等) ●「ものづくり教室」 ①「大阪府技能士会連合会」 ・大阪府印章技能士会による「石のはんこづくり教室」 12名(10月26日(土)) ・大阪府調理技能士会による「プロによるだし巻きのコツ料理教室」 35名(10月26日(土)) ②「泉州タオル染色・体験教室」(10月27日(日)) ・内 容 「世界にひとつだけのタオル体験学習」(ダイワタオル協同組合他 協力指導) ・会 場 レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター ・参加者 71名 ③「歴史館妖怪屋敷」(10月26日(土)・27日(日)) ・内 容 机と椅子を並べて通路をつくって、お化けの置物や絵を飾る ・会 場 レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの ・講 師 レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの 学芸スタッフ ・参加者 1,389名 ●「ステージショー」・・・「阿波踊り」「バトントワリング」「キャラクターショー」「フラダンス」「フルートアンサンブル」「ベリーダンス」他	
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>	
		①府施策連携	大阪府人材育成課並びに大阪府技能士連合会と事業内容等、情報交換を行い、技能士会による「ものづくり教室」（大阪府印章技能士会・大阪府調理技能士会）を開催。
		②広域連携	
		③市町村連携	泉佐野市の町会及び田尻町報を通じてPR活動に協力を得た。又情報交換等によりスムーズにすすめることができた。
		④相談相乗	商工まつりに出店することで商品やお店のPRを行うことができ、販路開拓に繋がった。

事業 全 体 の 実 績 ／ 目 標 達 成 度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	35.0	総支援企業 数(実績)	26.0	支援 実績率	74.3%	満足率	92.3%
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	・今回は会場を2つに分けて第6回泉佐野商工まつりを開催した。その結果、来場者数は合計で15,000人を超え、地域イベントとして根付きつつある。出店者からは、「自社商品のPRに繋がった」「会社・商品の知名度をアップすることができた」「消費者との新たなコミュニケーションが生まれた」等の感想を頂き、今後の販路の拡大へ向けての意欲を高めることができた。							
		代表指標	自社製品のPRに繋がった企業の割合						
	数値目標	80%	実績数値	100.0%	目標達成度	125.0%			
	成果の代表事例	・開催会場を2つに分けたことで、例年より多くの人に来場頂けた。 ・2日間開催したことで、多くの子供や女性の方に来場してもらうことが出来た。 ・回を重ねるごとに、参加者のディスプレイ等に創意工夫が見られ、来場者へ情報が伝わりやすくなっている。							
その他目標値の実 績	目標値 （計画）	3,150	目標値 （実績）	6543	目標達成度	207.7%			
	出店者の協力もあり、SNSやHP、テレビ等でPRを行ったことで多くの方が来場した。2日間開催したことで多くの方が来場した。								
実施 結 果	課題及び次期 以降への取組み （実績が目標値に達 していない場合は、 その理由や今後どの ようにフォローする のか）	・会場を2つに分けたことで多くの方にお越し頂けた。会場を2つに分けたことでゆとりを持って出店をすることができた。しかし、開場を2つに分けた為運営費等が増加し、多くの費用が発生した。 次年度は会場を分けずに1つの会場で開催を検討している。							

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業					地域活性化事業実績報告書						
泉佐野商工会議所											
事業名		働く女性のモチベーションアップ支援事業									
想定する実施期間		R6 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること									
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	企業において女性の活躍は、欠かせないものになっており、女性が高いモチベーションを維持して働けない会社は成長しにくくなってきている。しかし仕事と家庭の両立やキャリアの形成などの課題もあり、離職するケースもみられる。そこで女性が仕事を楽しみながら成果を出し、働き続けるためのモチベーションアップに加え、コミュニケーション、メンタルヘルス等の課題を解決することで、職場活性化につなげる。また参加することにより自社の企業内では聴くことのできない女性同士、従業員同士が集まることで、同じ悩みを持っている安心感が持て、勇気づけにつながる。									
	支援する対象 （業種・事業所数等）	職場でよりよい人間関係を築きたい、やりがいを感じ仕事に取り組みたい、今後も活き活きと働き続けたい女性									
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	セミナーを実施し働く女性のモチベーションアップを図ることにより、子育て中の女性をはじめ女性従業員が離職することなく定着し、組織の中で役割を果たし、職場を活性化する。									
		開催日時 令和6年7月23日（火） PM2:00～4:10 場 所 泉佐野商工会議所 講 師 オフィスYS株式会社 国家資格キャリアコンサルタント・人財育成トレーナー									
		内 容 ①自分らしさの追求 ②ポジティブエゴイズム ③ポジティブエゴイズムから利他的エゴイズムへ ④モチベーションUPのために大切なこと ⑤より良いバランス・分担に向けて ⑥「働きやすさ」の向上のために重要な雇用管理 他									
		大阪府の人材支援施策の説明 OSAKAしごとフィールド 担当者より									
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>									
①府施策連携	労働6番 大阪府施策「中堅・中小企業における女性の活用・戦力化支援事業」により、大阪府就業促進課女性就業推進グループとの連携により参加企業に対して、大阪府の企業向け施策の案内やOSAKAしごとフィールド登録への紹介等を行う。										
②広域連携											
③市町村連携	泉佐野市と田尻町の役所窓口において事業のPRでの連携										
④相談相乗											
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	5.5	支援実績率	36.7%	満足率	100.0%		
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	当日の感想として「大変、心を動かされ前向きになれたので良かった」「自分のやりたい仕事ができるように夢をもって近づきたい」等、モチベーションアップに繋がる感想を頂けた。									
		代表指標	モチベーションアップに繋がった又は、働きやすい環境整備を行う意欲が向上した割合								
		数値目標	70%		実績数値	100.0%		目標達成度	142.9%		
	成果の代表事例	このセミナーをきっかけに、「常に自分をほめていくよう努力したい」「他社に捉われない自分になりたい」「ネガティブ思考から自在に脱出できるようになる」「自分を大事にして、いろんなモチベーションを上げていきたい」等、明日からの自分に期待がもてるようになった。									
	その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）			目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	女性労働者の人数は男性に比べて職場内では限定的な人数になっているケースもみられる中、女性労働者が業務の主要な部分を担っているケースも多く、職場を抜けられない事情があったりして、参加が困難なケースがみられるため、参加希望者が参加しやすい状況を確保できるように、対応を検討していきたい。									

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書									
泉佐野商工会議所									
事業名		「泉佐野グルメガイド」							
想定する実施期間		RI	年度～	年度まで	※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること				
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	泉佐野市・田尻町周辺の夜間営業を行っている飲食店をガイドマップ形式で作成を行う。売上上位の商品を掲載することでお店の効果的なPRに繋げること、店舗を掲載するにあたって改めて自店舗の経営の見直しに繋げるようにすることは、昨年と同様である。新型コロナウイルス感染症は落ち着いたと思われるが、燃油価格高騰の影響を受け、思うように売上が伸びていない店舗が多くある。そこで、店舗の知名度向上を目指してガイドマップの作成を行い、新規顧客の増加へ繋げる。							
	支援する対象 （業種・事業所数等）	「泉佐野市・田尻町内で駅周辺の飲食店」並びに「泉佐野長者バル」の参加店ネットワーク」に加え、商業地域等の外に立地する店舗にも声掛けを行い、55社を支援対象とした。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	泉佐野市・田尻町内の小規模店を中心に募集を行い、グルメガイド（泉佐野ディナーマップ）を作成した。店舗ごとに売上のある商品を紹介することで、消費者にとって印象に残るような誌面構成とした。配布先は、各掲載店舗の他、ホテル・銀行・観光案内所・市町関連窓口等幅広く設定した。また昨年度に続き、SNSのQRコードを掲載し、誌面上に留まらない宣伝を行なった。さらに今年度はシールラリーを実施し、消費者に対して掲載店舗での飲食を促し、新規顧客開拓や常連客の獲得に繋がった。 【手法・時期】 ①令和6年6月：掲載店舗の募集開始（案内チラシや会議所月報の配布、職員による訪問等） ②同年9月：誌面の校正作業を開始（各職員が各店舗に確認） ③同年11月下旬：冊子の印刷 ④同年12月：配布開始（各掲載店舗の他、ホテル・銀行・観光案内所・市町関連窓口への配架） ⑤令和6年2月上旬：アンケート調査 【参加店舗】49店舗							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
		③市町村連携	市民版の商工会議所ニュースを活用しPRを行なった。						
	④相談相乗	申込受付や書類授受の際に相談の掘り下げ等を行なったが、相談にはつながらなかった。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	55.0	総支援企業数(実績)	37.0	支援実績率	67.3%	満足率	64.9%
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着きを取り戻したが、原油価格高騰や最低賃金の引き上げなど経営に直結する出来事が続いている。そこで新規顧客獲得のため冊子を作成し、参加店舗のPRが出来た。令和5年度の「新規顧客の獲得へ繋がったと実感した企業の割合」の目標達成度は27.4%であったが、令和6年度の前述の目標達成度は73.4%であった、前年度比は+46%となった。この要因として、シールラリーを実施したことだと考えられる。シールラリーの影響により、消費者が参加企業にて食事をしたことにより、新規顧客の来店に繋がったと思われる。 アンケート結果より新規顧客獲得に繋がった51.4%（参加企業37社に対して19社）、店舗のPRに繋がった67.6%（参加企業37社に対して25社）となった。また参加企業は新たな販路開拓への意識向上に繋がり、今後の販路開拓方法が広がった。							
		新規顧客の獲得へ繋がったと実感した企業の割合							
		数値目標	70%		実績数値	51.4%		目標達成度	73.4%
	成果の代表事例	①【泉佐野駅周辺のホテル】 各ホテルに冊子30部の配架を依頼した。また宿泊客が手に取り、冊子の追加依頼（10～30部）があった。 ②【掲載店舗】 各店舗に冊子25部の配架を依頼した。多くの店舗でお客さんが持って帰り、すぐに冊子がなくなった。 ⇒いずれも、現実にはPRにつながっている事例として挙げられる。							
		その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）		

実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>実施したアンケートで課題として多く挙がっているのが、「販路の開拓」（26社）と「人材の不足・育成」（15社）である。</p> <p>「販路の開拓」の要請に応じて、次年度にも当事業を継続し、併せてシールラリーを実施する。掲載店舗で食事を購入した参加者にシールを配布し、一定数集まると当所窓口で景品を受取ることができる。消費をより積極的に促すことで、一層の新規顧客開拓や常連客の獲得に繋げる狙いである。</p> <p>人材については、15事業所が「人材の不足・育成」を課題として挙げており、今後コロナ禍の影響の低減と比例して人手不足の問題が起きるとされる。当所としては泉佐野市が実施する求人システム、「いずみさのマッチボックス」等を周知している。</p>
------	--	--

泉佐野商工会議所

事業名		就労支援フェア「高齢者雇用促進フェア」							
想定する実施期間		H28 年度～ 年度まで ※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	人手不足や働き方改革等の雇用情勢の中にあって、５５歳以上の高齢者を対象に「高齢雇用促進フェア」を開催。求人企業とのマッチングの場を提供する合同就職面接会をはじめ、講座や就労相談などを実施することにより、「高齢者」等の雇用促進を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野公共職業安定所管内（泉佐野市・熊取町・田尻町・泉南市・阪南市・岬町）の事業者、又は、関西国際空港内、りんくうタウンの事業所等。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	・開催日 令和7年1月18日（土）PM1：00～4：00 ・場 所 エブノ泉の森ホール 2F ・内容 面接会、中高齢者相談、障がい者就労相談、ハローワーク（職業相談・紹介等）シルバー人材センター相談、福祉のお仕事相談コーナー、カードで職業適性診断コーナーシニア向け仕事説明会 {①株式会社 ドリームキャッチャー ②株式会社第一管財}							
		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞							
		①府施策連携	大阪府との連携により、中高齢者等相談コーナーへの専門家の派遣依頼ができ、相談が可能となった。						
②広域連携									
	③市町村連携	泉佐野市との連携により事業のPR活動及び当日のスタッフでの協力（市・広報窓口）							
	④相談相乗								
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15	支援企業数(実績)	14	支援実績率	93.3%	満足度	71.4%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	15社の事業所より、正社員、契約社員、パートを含めて123名の募集があり、その内11名が採用された。採用された方々は事業所でそれぞれの業務につくことができ、雇用促進の一助とすることができた。事業所においても、仕事の効率アップにつながった。 中高齢者相談7名、障がい者就労相談3名 シルバー人材センター相談 5名、ハローワークコーナー14名、福祉のお仕事相談コーナー 4名 職業適性診断コーナー7名 株式会社 ドリームキャッチャー仕事説明会6名、株式会社 第一管財仕事説明会 7名							
		指標	採用に結びついた企業数の割合						
		数値目標	50%	実績数値	50%	目標達成度	100.0%		
	成果の代表事例	A社 正社員 2名、 B社 パート1名、 C社 パート1名、 D社 正社員 2名を採用することができた。							
その他目標値の実績	目標値（計画）	170	目標値（実績）	77	目標達成度	45.3%			
	来場者数								
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	高齢者雇用促進フェア（合同就職面接会）の会場で、企業側と求職者側の双方の希望や条件も有り、採用に至ることは難しいが今後も1人でも多くの方を採って頂くよう採用のある事業所に参加して頂き、多く求人の方々が、雇用して頂けるよう今後も継続して取り組んで行きたい。 大阪府、ハローワークとの情報や連絡を密にして、参加企業の求人とマッチした求職者が参加できるよう努力して行きたい。							

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業				地域活性化事業実績報告書	
泉佐野商工会議所					
事業名		創業セミナー（特定創業支援セミナー）			
想定する実施期間		R2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	泉佐野市の認定連携創業支援事業者として、市並びに地域金融機関と連携を図りながら創業支援に取り組んでいる。創業を目指す方や創業間もない方を対象として、創業時に必要な経営・財務・人材育成・販路開拓等、事業経営の基本を学ぶセミナーを開催する。広域連携での実施することで、受講する機会を広く提供し、総合的な地域の活性化に繋がる。			
	支援する対象 （業種・事業所数等）	泉佐野市や近隣の市や町に在住する創業予定者（女性経営者・シニア等）、副業起業予定者、創業して1～5年未満の者等			
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	10月3日(木)から11月7日(木)の約1ヶ月間、トータル4日間の「創業セミナー」を開催した。独立開業を志す方や新たに事業を起こしたいと考えている方々を対象に、創業に必要な「経営」「財務」「人材育成」「販路開拓」の習得を目的として実践的、体系的に学んで頂いた。全ての講座を受講された方は、「特定創業支援事業を受けた者」とした。			
		①10月3日(木)18時30分～20時30分 （経営） 創業の心構え、事業計画の立て方など、創業を成功させるためのノウハウについて解説。 1. 創業を成功させる経営 講師：(株)ビジネスサポート 中小企業診断士			
		②10月17日(木)18時30分～20時30分 （販路開拓）（人材育成） 創業に役立つマーケティングや、儲かる会社、強い組織にするための人材活用術について解説した。 1. お客様を取込む販売計画について 2. 労務管理と社員育成について 3. 社会保険と労働保険について 講師：(株)ビジネスサポート 中小企業診断士 （社）全国労働保険事務組合連合会大阪支部 社会保険労務士			
		③10月30日(水)18時30分～20時30分 （財務） 経営に必須である資金繰りや決算等初期準備やランニングコスト、事業計画について解説した。 1. 財務会計の基礎知識 2. ビジネスプランの作成指導 講師：(株)ビジネスサポート 中小企業診断士			
	④11月7日(木)18時30分～20時30分 （経営）（販路開拓）（人材育成）（財務） ビジネスプランを発表して頂いた。色々な人の意見を聞いてブラッシュアップのキッカケとし、事業計画の見直すことが可能となった。 1. 事業計画とプレゼンテーション 講師：(株)ビジネスサポート 中小企業診断士				
<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>					
	①府施策連携	中小企業支援室経営支援課経営革新グループと連携			
	②広域連携				
	③市町村連携	泉佐野市の認定連携創業支援事業者として、市役所等の協力を得て、事業のPRを行い、参加者を募る。			
	④相談相乗	本事業終了後においても、創業の個別相談を行うことにより相乗効果を図る。			

事業 全体 の 実績 ／ 目標 達成 度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	15.0	総支援企業 数(実績)	9.0	支援 実績率	60.0%	満足率	88.9%
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	創業への取り組み状況が、①十分できていたが1名、②一応出来ていたが不十分なところがあったが2名、③不十分であったが3名、④全くできていなかったが3名の状況であった。 セミナー受講により、「ただぼんやりと考えていたことが、かなり具体的に計画・説明が出来るようになった。」「再考することが増えた」「具体的ではないが、少し前に進むことが出来た」「不明確であったところが明確になり、考えもまとまりました」「漫然と思っていたことが、具体的にイメージが出来るようになった」との意識の変化が生まれ、創業への課題解決、モチベーションアップに繋がった。							
		代表指標	創業知識が深まり創業準備がイメージできた受講生の割合						
		数値目標	50%		実績数値	44.4%		目標達成度	88.8%
	成果の代表事例	6か月以内での創業を目指していたところ、具体的な創業への取り組みが全くできていなかったが、受講により沢山のアドバイスや他の受講生の意見を聞くことができ、事業計画の見直しが必要であると思った。							
	その他目標値の実 績	目標値 （計画）				目標値 （実績）			
実施 結果	課題及び次期 以降への取組み （実績が目標値に達 していない場合は、 その理由や今後どの ようにフォローする のか）	既に創業されている方、スキルアップのために参加されている方にも満足頂ける内容を検討する。							

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業

地域活性化事業実績報告書

泉佐野商工会議所									
事業名		部下や従業員のほめ方・叱り方セミナー							
想定する実施期間		R6 年度～		年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること					
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	2022年4月1日以降は中小企業の事業主にも職場のパワーハラスメント防止措置が義務化された。ハラスメントのニュースが大きく取り上げられ、辞任、解任にまで繋がる昨今、正しい指導方法を身につけることは、どの事業所にとっても緊急の課題である。良かれと思っていても、的外れな褒め方では逆に部下のやる気を削いでしまうこともある。 今の時代にあわせて、部下を褒めて伸ばしつつ、叱るべきところはきっちりと叱り、部下にその理由を気付かせるスキルを学ぶ必要がある。そのため、正しく、効果的なほめ方・叱り方を理解し実践することで、相手の成長やハラスメント予防を目指す。叱るための準備、部下を成長させるためのほめ方と叱り方、叱った後のフォローの仕方を学び、部下から信頼され、大きく成長させる方法を学ぶ。							
	支援する対象 （業種・事業所数等）	業種は問わず、泉佐野・田尻町で事業を営む経営者及び管理職を対象とし、15社を想定。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日時：2025年2月14日（金）13：30～16：30 開催場所：泉佐野商工会議所 4Fさくらホール テーマ：部下や従業員のほめ方・叱り方セミナー 講師：株式会社ミライフ経営総研 担当者 講 師：株式会社ミライフ経営総研 担当者 1. なぜほめること、叱ることが必要なのか ・部下の成長をサポートするために ・信頼関係が鍵となる 2. ほめ方の基本と実践 ・ほめる目的と効果 ・正しく「ほめる」ための基本心得5つ ・ほめるコツとポイント ・ほめポイントを探す 3. 信頼関係をつくる叱り方 ・育成のための「叱り方」コツとポイント ・ハラスメントに配慮する ・叱る際の3つの失敗パターンと対策 ・成長を促すための叱り方5ステップ <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
		③市町村連携	市町村連携 市役所との連携を通じて、案内周知を図る						
		④相談相乗	本事業参加後の労務支援等の個別相談に対応することで、相談事業と連携する						
	事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	16.5	支援実績率	110.0%	満足率
目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）		代表指標	ほめ方・叱り方のスキルについて学んだことを実践しようと思った企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	97.5%	目標達成度	139.3%		
		成果の代表事例	本セミナーを受講して、今後若手社員の育成・定着について取り組みをしたい（検討したい）、これまでの取り組み内容を再検討したいとの意見をいただくことができた。						
その他目標値の実績		目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実施結果		課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	アンケートの自由記述欄では、「Microsoftの無料ツールを使って、ノーコードで業務アプリをつくる研修を実施してほしい」「中堅・若手それぞれ仕事に対する心構えを見直す基本的なセミナーを実施してほしい」等の意見をいただいた。こうした意見を参考に今後の事業に活かしていきたい。						

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業										地域活性化事業実績報告書	
泉佐野商工会議所											
事業名		経営革新セミナー									
想定する実施期間		R6 年度～ 年度まで ※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること									
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	今後国内の市場規模が小さくなる一方であり、情報化社会の進展もあり、価格競争力の高い大手の一人勝ちになりつつある。また新型コロナウイルスによる事業への影響等により、企業を取り巻く環境は大きく変化している。そんな中、これまでの枠組みを変えるような新たな価値提案が求められる。自社の強みとターゲットとなる顧客をしっかりと見極め消費者ニーズへの対応や商品特性を知って頂くための情報提供等も必要である。そこで本事業では、新しい取組みに意欲的なながらも、事業計画の重要性に気づいていない層に経営革新計画制度の存在を認知させ、関心度を高め、計画の申請および企業躍進に繋げる。									
	支援する対象 （業種・事業所数等）	新事業展開に意欲的ではあるが、経営革新の制度を知らない方々、経営計画作成のノウハウを学びたいと考えている小規模事業者。									
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	経営環境が変化する中、未来を切り開くためには、環境の変化に合わせた経営スタイルに変えていくことが必要であり、新事業・新サービスへのチャレンジを検討し経営力向上を目指すために経営革新計画や経営革新のあり方等を学習し経営革新計画の申請を目指す。									
		開催日時 令和6年11月26日（火） PM1:30～4:00 場 所 泉佐野商工会議所 講 師 コア・サポート株式会社 中小企業診断士 内 容 ①経営革新計画の概要 ②経営革新計画策定～承認までの流れ ③経営革新計画策定の留意点 ④事例紹介（経営革新計画承認企業） 経営革新計画の申請等の説明 ・大阪府経営革新グループ 担当者 ・大阪産業経済リサーチセンター 担当者									
		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞									
		①府施策連携	大阪府商工労働部中小企業支援室経営支援課経営革新グループ（商-15）と連携								
		②広域連携									
		③市町村連携	市役所等の協力を得て事業のPRを行い参加を募る。								
④相談相乗											
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	6.0	支援実績率	40.0%	満足率	83.3%		
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	代表指標	経営革新計画申請を希望する事業者の割合								
		数値目標	70%	実績数値	66.7%	目標達成度	95.3%				
		成果の代表事例	セミナー終了後の個別相談では、経営革新へ向けての意欲が高まり、活発な個別相談会となった。講師からの直接のアドバイスにより、今まで頭の中で温めていた計画に実現性が加味され、今後の計画申請に向けての意欲が伺えた。								
	その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）			目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	課題は、「経営革新」というキーワードが、少し難しく捉えられるケースがあり、積極的に踏み込みにくい状況がある。そのためにセミナー終了後のアンケートで一番印象に残ったこととして多かった「計画承認企業」の承認事例を紹介することで、経営革新へのハードルを下げ、意欲を高めていきたい。フォローについては、経営革新計画の進捗に応じて、必要な支援を行い、実現化に向けてフォローしていく。									

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業					地域活性化事業実績報告書				
泉佐野商工会議所									
事業名		就職フェア（合同就職面接会）							
想定する実施期間		H2 年度～		年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること					
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	現下の厳しい雇用情勢の中にあって、これからの成長企業と若年者等の求職者のマッチング機会を設けることで、企業の人材獲得はもとより、地域の雇用促進をはかる。また学生等と中小企業とが直接交流することにより、中小企業への理解を深めて頂く。							
	支援する対象 （業種・事業所数等）	泉佐野公共職業安定所管内（泉佐野市・熊取町・田尻町・泉南市・阪南市・岬町）の事業所、又は関西国際空港内、りんくうタウンの事業所への参加募集を行う。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	・開催日 令和6年11月12日（火）PM1：00～PM4：30 ・会場 関西エアポートワシントンホテル IF リヴァージュ ・内容 ①就職希望の中途採用者・パート・アルバイト・既卒者・大学生、短大生、専門学校生と求人企業が個別に面接を行う。 ②ハローワークコーナー ③労働相談・情報コーナー ④若年者就労相談 ⑤就活ビジュアルアップコーナー ⑥証明写真撮影コーナー ⑦企業訪問シールラリー ・広報 就職者へのPR新聞折込チラシ、掲示板等へのポスター掲示、立て看板							
		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞							
		①府施策連携	大阪府商工労働部 雇用推進室 と連携を行い、労働相談情報コーナーを設置し、求職者への相談に繋いだ。						
		②広域連携	熊取町商工会・泉南市商工会・阪南市商工会、岬町商工会の協力で、参加企業数が確保できた。						
		③市町村連携	泉佐野市、田尻町より、ポスターの掲示及び市報・町報のPRの協力体制ができた。						
④相談相乗	事業実施後に、カルテ化に取り組んだ。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	37.0	総支援企業数(実績)	34.0	支援実績率	91.9%	満足率	70.3%
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	ワークフェアに参加頂いた38社の中で、67名の応募があり、17名の採用に繋がった。採用された方々は各事業所でそれぞれ業務に就くことができ、雇用促進の一助とすることができた。また、事業所においても、事業継続に必要な人材を確保することが出来た為、仕事の効率を上げることができた。							
		代表指標	採用に結びついた企業の割合						
		数値目標	50%		実績数値	35.3%		目標達成度	70.6%
	成果の代表事例	泉佐野市で事業を営むA社は、本事業に参加した結果、当日に3名の求職者へ企業説明を実施した。その後、3名と面接を行い、2名を採用するに至った。							
	その他目標値の実績	目標値（計画）	120名		目標値（実績）	78名		目標達成度	65.0%
求職者									
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	本年度は昨年度と比較して支援企業数がやや減少したものの、当日の来場者数は増加した。目標値120名に対し、78名の求職者が来場した。この結果は、本年度初めて実施した「企業訪問シールラリー」の効果が一定数あったと考えられる。来年度は開催時期を見直し、より早い時期での開催が可能かを検討するとともに、シールラリーの実施およびPR活動を強化し、更なる来場者増加を目指すたい。							

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業										地域活性化事業実績報告書			
泉佐野商工会議所													
事業名		障がい者雇用に関するセミナー											
想定する実施期間		R3		年度～		年度まで		※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること					
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	障がい者雇用における民間企業の法定雇用率が、令和3年3月1日以降さらに引き上げられたことで制度の対象となる事業主の範囲が、従業員43.5人以上に広がったことや少子高齢化社会において人材不足が予測されていることに伴い、障がい者雇用に取り組もうとする中小企業に対して、積極的な雇用の拡大の一助になることを目的とする。											
	支援する対象 （業種・事業所数等）	管内の事業所に募集をはかり、業種は特定しない。 また、法定雇用率制度の対象事業所のみならず、関心のある事業所を幅広く支援対象とする。											
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	●開催日時：令和6年7月2日（火）13時～15時50分 ●内容：・障がい者雇用率制度、障がい者雇用納付金等の制度の解説 ・雇い入れる際の業務の切り出しや雇用管理について ・助成金や補助金の紹介及び申請等サポート機関の紹介 ・高等支援学校の見学・概要説明 ・事例紹介（1社） ・大阪府の施策紹介 ●場所：大阪府立すなわ高等支援学校 2階 視聴覚室 ●講師：大阪府商工労働部 上席調査役の方、すなわ高等支援学校進路指導主事の方 ●事例紹介事業所：1社（障がい者雇用実績ありの事業所） ●参加対象：経営者、人事担当者 ●集客方法：会報への掲載、会員向けDM発信、HPでの案内、個別巡回・窓口配布にて行った。 ●共催：大阪府、泉佐野商工会議所、岸和田商工会議所、貝塚商工会議所 ●実績：30社39名 ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞ ①府施策連携 大阪府商工労働部 雇用推進室 就業促進課の協力で、制度概要など細かに伝えることが出来た。また、周知協力を通じて幅広い周知が出来た。 ②広域連携 岸和田、貝塚との3市合同で行うことで幅広い周知が出来た。 ③市町村連携 ④相談相乗											
		計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15		総支援企業数(実績)	30		支援実績率	200%		満足率	100%
		目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	講座を通じて、障がい者雇用に取り組む際に、頼る機関や利用できる制度、採用ルートなど事例紹介等でより具体的に伝えることが出来た。また、支援学校の取り組み等見学により、障がい者雇用についてイメージを持って頂くことを通じて理解が深まり、より取組意識が向上した。										
			代表指標	障がい者雇用に対して取組み意識が向上した企業の割合									
			数値目標	70%		実績数値	94.8%		目標達成度	135.4%			
成果の代表事例	大阪府商工労働部 雇用推進室 就業促進課の担当者より障がい者雇用の基本・制度紹介について分かりやすくレクチャーして頂くことが出来た。また、障がい者雇用についての相談窓口である、大阪府障がい者雇用促進センターの案内を行った。事例紹介を通じてより具体的なイメージを伝えることができた。												
その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）				目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	講座の内容は、過年度から問題提起していることについて同一の内容であったが、人材不足や多様性社会への課題意識が高まっている世相を反映してか、支援学校の見学という具体的な内容であったことを反映してか、参加者数は大幅に増えた。また、満足率も昨年度より改善が見られた。											

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業										地域活性化事業実績報告書		
泉佐野商工会議所												
事業名		人材ニーズの明確化とHR支援制度に関するセミナー										
想定する実施期間		R6		年度～		年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	企業の人材確保の動きは活発化している。しかしながら、生産年齢人口が減少するなか、人材確保に困難を生じている企業は多い。そこで、人材不足に悩む企業経営者・人事担当者などを対象に、外部人材、外国人材（特定技能、高度人材など）の採用・活用、兼業・副業など、新たな人材を活用するための制度説明や採用方法、活用事例などを紹介するセミナーを開催する。										
	支援する対象 （業種・事業所数等）	泉州地域で事業を営んでいる中小企業の経営者、人事担当者など										
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	●開催日時：令和6年7月10日（水）14時～16時 ●内容：・人材ニーズを明確にし、欲しい人材を逃さない求人・面接戦略 ・大阪府プロ人材の活用、人材採用コンシェルジュ事業、外国人材マッチングプラットフォーム ・フォーム事業について紹介と活用事例 ・人材関連の支援策の紹介 ●場所：泉佐野商工会議所 2階 第1研修室 ●講師：Office Heart Rock 代表・社会保険労務士 ●参加対象：経営者、人事担当者 ●集客方法：会報への掲載、会員向けDM発信、HPでの案内、個別巡回・窓口配布にて行った。 ●共催：大阪府、大阪産業局、岸和田商工会議所、貝塚商工会議所、泉佐野商工会議所 ●実績：7社8名										
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>										
		①府施策連携	大阪産業局の協力で、支援制度の概要などについて細かに伝えることが出来た。また、周知協力を通じて幅広い周知が出来た。									
		②広域連携	岸和田、貝塚との3市合同で行うことで幅広い周知が出来た。									
		③市町村連携										
		④相談相乗										
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0		総支援企業数(実績)	7.5		支援実績率	37.5%	満足率	87.5%	
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	支援企業数実績が計画の4割以下であった。内容については、セミナー参加事業所のアンケート結果によれば、以下2つの指標（満足度、取り組み意識の変化）で、ともに高評価を得られた。										
		代表指標	アンケートで「セミナーで得た知識を人材採用や定着に向けて活用したいと回答した企業の割合									
		数値目標	70%		実績数値	100.0%		目標達成度	142.8%			
	成果の代表事例	ワークシートを使用した具体的な内容のセミナーで、満足度は高い結果となった。また、大阪産業局や大阪府で実施している支援策についても幅広く紹介することで、支援企業における今後の自発的な経営課題解決への糸口になる知識を提供することができた。										
	その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）				目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	実施後、セミナー参加者内より大阪産業局での個別相談予約が1件あった。また、本事業への問題意識として、満足度は高いが支援企業数実績が伸びなかったことの要因を以下4点にあると思案する。 （1. 開催時期 2. 周知方法 3. 実施形態 4. 実施内容に対するニーズの分析） 人材不足に対する事業所のニーズはあると考えたが、その案内方法等に課題があったと認識しており、今後は言葉選びを含めて検討したい。										

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書									
泉佐野商工会議所									
事業名		販路開拓&業務効率化の為のAI活用支援事業							
想定する実施期間		R6 年度～		年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること					
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	本セミナーの目的は、中小事業者に対して、AI技術の有効活用によって事業の成果を向上させる方法を提供することであった。セミナーの具体的な目的は以下の通りであった。 AIの基礎知識の提供 参加者がAI技術に関する基本的な知識を身につけることを目的とした。これにより、AIがどのように機能し、ビジネスにどのように適用できるかを理解することが期待された。 AIツールの幅広い紹介 様々なAIツールに焦点を当て、お店においてどのように役立つかの説明を行った。これにより、参加者は自身のビジネスに最適なツールを見つけ、導入する際の選択肢を増やすことを目指した。 効率化や売上向上に繋がる具体的なケーススタディの解説 AIツールの効果を裏付ける具体的な事例やケーススタディを通じて、参加者に効率化や売上向上への流れを理解してもらうことを目的とした。これにより、参加者が導入に対する期待値を明確にし、具体的な成果を上げるための戦略を考えられるよう支援した。 以上の目的を達成することで、中小事業者がAI技術を積極的に活用し、経営を成功に導くスキルや知識を身につけることを目指した。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	広域連携にて泉佐野市、岸和田市、貝塚市の各市域において業種・業態を問わずAIツールを用いての販路開拓を考えている方20人を対象（泉佐野：10人、岸和田：5人、貝塚：5人）。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	泉佐野商工会議所に於いて、当所幹事、近隣（岸和田、貝塚）との広域連携を図り、専門家を講師として招き必要な知識と準備についてセミナー形式でレクチャーした。 具体的な内容として、AIの中でも特に注目を集めるChatGPTの基礎知識から、詳細な導入手順、そして中小企業における幅広いAIツールの活用法について紹介を行った。また、府施策連携事業として大阪産業局 MOBIO事業部の方より支援施策の紹介を行った。 【日時】7月30日（火）14:00～16:00 【場所】泉佐野商工会議所 4Fさくらホール 【内容】「販路開拓&業務効率化のためのAI活用セミナー」 <ul style="list-style-type: none">・ChatGPTの概要と機能・ビジネスを加速する文書生成AIの実践活用・生成AIの発展と活用・生成AIの活用事例紹介・生成AI活用に潜むリスク・質疑応答 【参加者】10社14名 ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞							
		①府施策連携	大阪産業局 MOBIO事業部の方より支援施策の紹介等						
		②広域連携	泉佐野・岸和田・貝塚のエリアにおいて会報・案内チラシ・HP等、PR活動の展開						
		③市町村連携							
		④相談事業相乗	事業実施後にカルテ化に取り組んだ。						
	事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	10.0	支援実績率	50.0%	満足率
目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)		本セミナーを受講した事業所は、AI技術の基礎知識を習得し、具体的な活用事例を通じてAI導入への意識が高まったと考えられる。AIツールの選択肢や導入手順を学んだことで、実践的な準備が整い、業務効率化や売上向上の可能性を具体的にイメージできるようになった。さらに、大阪産業局の支援施策を通じて他事業所の成功事例を学ぶ機会を得たことで、AI活用の現実的なビジョンを描きやすくなり、具体的なアクションにつなげる道筋を明確にした。これにより、各事業所が経営課題の解決や成果向上を目指す積極的な姿勢を獲得した。							
		代表指標	AIツールを自身の事業へ活用していくと答えた事業者の割合						
		数値目標	70%	実績数値	64.3%	目標達成度	91.8%		
成果の代表事例		A社では、ChatGPTを活用してSNS広告のキャッチコピーを作成。従来よりもターゲットに刺さる内容となり、広告の効果が向上した。結果として、商品の販売数が前月より増加した。							
その他目標値の実績		目標値（計画）				目標値（実績）			目標達成度

実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	本セミナーは受講者から厳しい意見を頂く形になった。その原因として講師と受講者のセミナー内容に対する認識のギャップが挙げられる。講師はAIの最先端知識を広く浅く紹介したが、受講者はAI活用の具体的な方法を深掘りする内容を求めている。このズレが満足度の低下につながったと考えられる。講師との打ち合わせは行ったものの、内容の詳細までは詰め切れなかったため、今後はより密な打ち合わせを行い、受講者のニーズに合った内容を確実に準備したい。
------	--	--

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業

地域活性化事業実績報告書

泉佐野商工会議所																																														
事業名		若手社員フォローアップ研修会																																												
想定する実施期間		R6 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること																																												
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	新型コロナウイルス感染症の影響が収まりつつある中、中小企業の人材確保が問題となっている。一方では大卒社員の3割が3年以内に離職する現状もあり、若手社員の育成は企業の課題として重要性を増している。大手・中堅規模の企業であればOJTでビジネスマナーを含めた社会人の基礎を現場の実務と並行して習得することが可能だが、中小企業においてはOJTのみ行っている事業者も多く、座学での研修の機会が無く、ビジネスの基礎的な部分への理解が足りず業務に支障をきたすケースも少なくない。本事業では研修会の実施により新卒社員や若手中途社員を対象にビジネスマナーの再確認とメンタルケアを図る。																																												
	支援する対象 （業種・事業所数等）	小売業、飲食等サービス業を営む中小企業者等を対象として、24社を想定。 ビジネスマナー等を自社で教育する時間がない中小企業者等																																												
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>泉佐野商工会議所において、ビジネスマナーの専門家を招き、再確認としてビジネスマナーのレクチャーを行った。また、メンタルケア等の働く上での悩みやストレスとの向き合い方、相談窓口についてもレクチャーした。</p> <p>実 施 日：令和6年9月3日(火)10時～16時 場 所：泉佐野商工会議所 4階 さくらホールにて実施 講 師：スマイルトレーナー・人材育成プロデューサー 参加人数：参加者数：17名</p> <p>【内容】</p> <div><div>・ビジネスマナーの再確認</div><div>・電話対応と名刺交換の基本</div><div>・働く上での悩みやストレスとの向き合い方</div><div>・報告・連絡・相談について</div><div>・勤労者のためのこころの相談窓口について</div><div>・クレーム対応</div><div>・コミュニケーション能力の向上について</div><div>・若手社員としての役割・求められる力</div></div> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table><tr><td>①府施策連携</td><td colspan="8">OSAKAしごとフィールドの協力で労働相談窓口の紹介ができた。 大阪府就業促進課企業支援グループと連携。</td></tr><tr><td>②広域連携</td><td colspan="8">岸和田、貝塚との3市合同で行うことで幅広い周知が出来た。</td></tr><tr><td>③市町村連携</td><td colspan="8">市民版の商工会議所ニュース等により幅広い周知が出来た。</td></tr><tr><td>④相談相乗</td><td colspan="8"></td></tr></table>									①府施策連携	OSAKAしごとフィールドの協力で労働相談窓口の紹介ができた。 大阪府就業促進課企業支援グループと連携。								②広域連携	岸和田、貝塚との3市合同で行うことで幅広い周知が出来た。								③市町村連携	市民版の商工会議所ニュース等により幅広い周知が出来た。								④相談相乗								
	①府施策連携	OSAKAしごとフィールドの協力で労働相談窓口の紹介ができた。 大阪府就業促進課企業支援グループと連携。																																												
	②広域連携	岸和田、貝塚との3市合同で行うことで幅広い周知が出来た。																																												
	③市町村連携	市民版の商工会議所ニュース等により幅広い周知が出来た。																																												
	④相談相乗																																													
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	24.0	総支援企業数(実績)	13.5	支援実績率	56.3%	満足率	100.0%																																					
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	若手社員がビジネスマナーについて再確認を行い、業務の円滑な遂行が可能となった。また働く上での悩みやストレスとの向き合い方を学び、労働に関する相談窓口等を紹介する事で離職を事前に防げる事が可能になった。アンケートにおいても名刺交換や電話対応について分かりやすく学ぶことができたと回答があった。参加者へビジネスマナーへの理解が深まり、対応力について自信を持たせることができた。																																												
		代表指標	ビジネスマナーへの理解が深まり、対応力について自信が持てた企業の割合																																											
		数値目標	70%	実績数値	94.1%	目標達成度	134.4%																																							
	成果の代表事例	若手社員に対し挨拶・名刺交換・電話対応といった社会人として必要不可欠なビジネスマナーの再確認・再発見を促すことができた。また、働く上での悩み・ストレスとの付き合い方やosakaしごとフィールドの案内も行い、若手社員に対しフォローアップを行うことができた																																												
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度																																								
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	講座の内容は、講師とよく相談をして難しすぎる内容にならないように気をつける必要がある。ビジネスマナーのレベルが違いすぎると内容が理解できなくなる事がある。 今回の講座は、参加者全員が満足しておりアンケートでも不満と回答した人は1人もいなかった。参加者は18名で多くの方に受講いただくことができたが、前日キャンセルや当日キャンセルが多くあり、社数は13.5社に留まった。 今後は、郵便での案内回数を増やすことにより更に受講者を増やせるのではないかとと思われる。																																												

令和 6 年度（2024年度）小規模事業経営支援事業

地域活性化事業実績報告書

泉佐野商工会議所

事業名		ビジネスコミュニケーション力アップセミナー～話し方・きき方・伝え方講座～							
想定する実施期間		R4 年度～		年度まで		※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	IT化とネットワーク化で機械に仕事を奪われ、激化するグローバル競争と海外への業務アウトソースによってビジネス環境は大きく変化している。日本企業においても社員の専門性やスキルを高め、差別化商品や自社だけのサービスを生み出すことが可能な人材を育成しなければ、生き残れない時代となっている。また、人材育成は経営戦略の要として人事部だけの仕事ではなく組織的に取り組むべき最重要課題であると考えられる。そこで若手社員・中堅社員・人事担当者が業務を行なうにあたって必要なスキルを習得し、企業としての組織基盤の強化につなげていくことを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種は問わず、広域連携にて泉佐野市、岸和田市、貝塚市の各市域における事業所で勤務する全従業員を対象として、24（泉佐野：12社、岸和田：6社、貝塚：6社）を想定。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日時：2025年2月26日（水）13：30～16：30 開催場所：泉佐野商工会議所 4Fさくらホール テーマ：話し方・きき方・伝え方講座 講師：株式会社ミライフ経営総研 担当者 1.「聴く」と「訊く」（傾聴力） ・聴く姿勢6つのポイント ・「聴く力」を磨く8つの基本テクニック（質問力） ・質問力を高めるメリット ・質問技法 2.「話しかた」の基本・わかりやすい話し方 ・ことばの選び方 ・話し方5つのポイント ・人前で話すコツと緊張の対処法 3.「伝える」技術 ・話すときの工夫 ・アサーションスキルを身につける							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携	当所幹事、近隣（岸和田、貝塚）との広域連携事業として効率良く実施する。開催案内の周知方法として、案内チラシを作成し、各所の会報に折込みやHPに掲示、巡回、窓口配布等を通じて幅広く周知する。開催場所は幹事である泉佐野商工会議所にて行う。						
③市町村連携		市役所との連携を通じて、案内周知を図る							
④相談相乗	本事業参加後の労務支援等の個別相談に対応することで、相談事業と連携する								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	24.0	総支援企業数(実績)	25.5	支援実績率	106.3%	満足率	91.4%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	日々の業務を行なうにあたり、ビジネスコミュニケーション力が向上することで若手社員・中堅社員・人事担当者のスキルアップにつながった。結果として、若手社員の職場定着・離職防止にもつながり組織基盤の強化に期待できる。							
		代表指標	ビジネスコミュニケーション力が向上した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	82.8%	目標達成度	118.3%		
	成果の代表事例	「本講座を受講してコミュニケーションの取り方、各レベルに対しての話し方・聞き方(ひき出し方)について振り返る事ができました。講師先生の実体験のストーリーなどが見えて大変分かりやすかったです。」との意見をいただくことができた。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	アンケートの自由記述欄では、上司や部下とのコミュニケーションの取り方や若手社員の定着、若手社員のモチベーション向上方法について困っている事業所が多く見られました。また、具体的に「中堅・若手それぞれ仕事に対する心構えを見直す基本的なセミナー」「接遇に関するセミナー」「ビジネスマナー講座」の実施をして欲しいとのご意見をいただきました。こうした意見を参考に今後の事業に活かしていきたい。							